

コトバカっ!



コトバカ
言葉家……言葉を操る専門家。言葉にバカに詳しい人。言葉にバカみたいにこだわる人。

コトのほかバカ。コトによるとバカ。コピーライターの俗称。

上から読んでも相川藍、下から読んでも相川藍。コトバカの相川藍が言葉についてコトバカるっ!

笑うプロポーズ

結婚情報誌「セクシィ」のCMが話題になっている。お笑い芸人30人が「本気のプロポーズ」に挑んだという設定だ。30パターンの中でどれが自分の好みか、ドキドキしながら見てしまう。

「俺の嫁になれ」「結婚してください」「一生幸せにします」など古風なプロポーズも多い。ストレートな勝負も悪くないけど、今の時代には少々強引すぎるというか、熱すぎるというか。第一、女はどう答えればいいのか。「はい」「ごめんなさい」「考えさせて」「くらいしか思いつかず困惑してしまふ。できればもう少しリラックスさせてほしいところだ。

これ、お店の接客にも通じる。最近の客は、強引さにも丁寧さにも身構えるため「いらっしやいませ」の代わりに「こんにちば」と言うへ友達接客が主流になった。「買え」でも「買ってください」でもなく「買っちゃいましょうか!」的なニュアンスで背中を押せる店員がウケるのだ。

30のプロポーズの中で心をつかまれたのは「これからどうしようか?……結婚しようか?」というもの。「このあともう一軒行く?」っていう感じのセリフが続くかと思わせつつ、まさかの不意打ちである。「人妻っていいよなあ……お前も人妻になれよ、俺の」も、独り言っぽい日常のセリフからの急転換にぐっときた。相当遊び人風だけだ。

このパターンのポイントは、軽すぎて思わず笑ってしまったこと。だけど、女が嬉しそうに笑えばYESの答えになるし、NOの場合も、何言ってるのよという笑い方でスルーすればいい。どっちにしても女は笑っただけでOKだからラク! 男は女に負担をかけてはダメなのである。

ちなみに30人の相手役をこなしたのは、セクシィ6代目CMガールの松井愛莉。プロポーズされた瞬間の表情が初々しくて釘づけになるけど、彼女はまた16歳だ。初婚年齢が上がっている今、酸いも甘いも知り尽くした大女優がCMガールをやるべきじゃないかとも思う。どんな口説きにも「出直してきな!」って表情で終わるCMも見たいような。

あいかわ あい ことばか
相川 藍 (言葉家)

丸の内文学賞(大賞)、朝日広告賞(最高賞)、インターネット書評コンテスト(最優秀賞)受賞。早稲田大学第一文学部卒。コピーライター。